

時局日誌（五十）

Y H 生

十月十一日

更生絲織物既製服最高販賣價格指定（商

工省告示第九二一號）檢查外既製服最高

販賣價格指定（商工省告示第九二二號）毛

織物販賣價格指定昭和十五年十二月告示

第九二三中改正（商工省告示第九二三號）

毛紡式ステーブルファイバーウェブ販賣價

格指定昭和十五年一月告示第九二四號中

改正（商工省告示第九二四號）特免毛製

品販賣價格指定昭和十六年二月告示第一

〇〇號中改正（商工省告示第九二五號）

毛織物既製服販賣價格指定昭和十六年三月

告示第二〇〇號中改正（商工省告示第九

二六號）毛莫大小製品販賣價格指定昭和

十五年十二月告示第七八一號中改正（商
工省告示第九二七號）ステーブルファイ
バー莫大小製品、綿莫大小製品及人絹莫
大小製品最高販賣價格指定昭和十六年六

月告示第五三四號中改正（商工省告示第
九二八號）莫大小製品の販賣の價格指定
昭和十五年十二月告示第七八二號中改正

（商工省告示第九二九號）電氣時計最高
販賣價格指定（商工省告示第九三一號）
公布

十一日までに判明せる今次河南作戦の
戰果左の如し

△敵棄死體二千六百、捕虜三百△鹵
獲品、重機三十五、輕機四十、迫擊砲、

徹底的に撃破、これを殲滅することに
成功した、莫大なる赤軍の死傷の外に
聯合軍は六萬四千三百二十五人の捕虜
を始め百二十六臺の戰車、五百十九門

擲彈筒三十、小銃三百五十、自動小銃十

十一日夜獨軍司令部特別發表

一、アゾフ海北岸の包圍殲滅戦は完全に

終結した。

一、同戰闘においてレール將軍麾下の獨

空軍の協力にマンシュタイン將軍の

指揮する獨軍團、ドミトレヌコ將軍の

指揮するルーマニア軍團、クライスト

將軍の指揮する獨戰車軍團の聯合部隊

は、赤軍第九、第十八兩軍團の主力を

の大砲を鹵獲、その他兵器の戦利品は

進
した。

見通し難い量に上つてゐる。

十月十三日

、イタリア、ハンガリー、ルーマニア
スロヴェニア各聯合軍と協力せるルン

トシユテツ元帥麾下の獨南方軍は、以上を加へて去る九月二十六日以來現までに合計十萬六千三百六十五名の

赤軍の捕虜と二百十二臺の戰車、六百七十二門の大砲を鹵獲した。

ソ聯情報局は左のごとく、プリヤンスク
放棄を發表じた。

十二日を通じ赤軍は全線にわたり戦闘を繼續、特にウヤジマ、アリヤンスク兩地区において激戦が行はれた、赤軍は長期の戦闘の後アリヤンスクを攻棄した。

ペルリン來電によれば、モスクワ西方

より同市めがけて東進の獨軍の一隊は十

二日グヂアトスク（ボロジノ西方六十キ

郊外に達し、またブリヤンヌで赤軍を包囲せる後、南西方面は切進撃中の

獨軍は同日カルガに向か百七十キロを前

休職

總務局理事 櫻井 敏

棟居俊一

財務局長 大竹 虎雄

東京市では十三日財務局長等の異動を

水船に就する救助作業は連日全力をあげ
續行中なるも、各種状況より判断の結
果、生死不明者は殉職と認定するの已む
なきに至れり。

面において遭難沈没せる伊號第六十一潛

見要談の上、同四時八分宮中を退出した
　海軍省公表　去る十月二日九州北西海

般政務につき委曲奏上種々御下問に奉答して御前を退下、別室にて木戸内府と會

近衛首相は十三日午後一時五十五分宮中に参内、天皇陛下に拜謁仰付けられ一

我が委任統治領パラオ島パラオと葡領チモール島首府ディリ間の定期航空設

十月十四日

わが軍は宜昌東南方に潛入せる敵を撃滅したが敵の遺棄死體千二百四十五、鹵獲品重機十五、輕機百二十五、小銃二千五百四十三、又京山附近の敵を攻撃した遺棄死體三百七十五、捕虜六十八。新豐鎮の掃蕩戦では敵の遺棄死體百、鹵獲品

小銃三百、綿襪四千七百發、手榴彈八十
一、その他武器多數。

魯南戰線の共產軍掃蕩戰では

一、豐田部隊は十三、四の兩日華嚴寺
(沂州南方二十五キロ) 南方および馬站

(沂州南方五十キロ) 北方地區に亘り掃
蕩を行ひ左の戰果を擧げた、鹵獲品洋
砲二七、電線廿キロ。

二、石田部隊は十三日層山(蘭陵東方廿
五キロ) 一帶及び十四日は蘭陵東方地
區を掃蕩した敵遺棄死體九、捕虜一五
小銃三九、洋砲六〇、食鹽五、五〇〇
斤、糧秣五、三〇〇斤、小銃彈製造所
一を覆滅した。

三、山本部隊は十三、四の兩日店子(蘭
陵東方二十三キロ) および長城附近一

帶を討伐した、遺棄死體五四

四、八木部隊は十四日馬頭集(新安鎮北
方卅キロ) および沂河左岸地區を掃蕩
した、遺棄死體一〇、手榴彈三八

十四日の獨軍特別發表は東部戰線にお

ける赤軍將士の捕虜の數はすでに三百萬人を突破した旨を發表したが、獨軍當局の説明によれば、この莫大な捕虜に加へて、戰場に横たはる敵の戰死者および負傷者を合算すると、獨軍の殲滅した赤軍はすでに三百個師團以上に上るであらうとされてゐる、なほ前大戰に獨軍が捕虜にした聯合國軍の數はロシア兵百四十萬、フランス兵五十三萬五千、英國兵十
五萬五千、その他を合せ合計二百五十二萬人であつたから、今回の三箇月餘の戰

果が四年間の前大戰の捕虜總數を凌駕する事實は如何に獨軍の包圍殲滅戰が成功裡に行はれてゐるかを示すものである。

十月十五日

船員徵用令施行規則中改正(遞信省令第
九三號) 木材販賣價格指定昭和十五年十
二月告示第六七一號中改正(農林省告示
第七七二號) 紹染製品販賣價格指定昭和
十六年六月告示第四八二號中改正(商工

指定昭和十六年四月告示第二九二號中改
正(商工省告示第九四一號) 電氣スタン
ド最高販賣價格指定(商工省告示第九四
二號) 公布

海軍少將 伊藤 整一

任海軍中將補軍令部次長

海軍少將 金澤 正夫

補橫須賀鎮守府參謀長

海軍軍醫中將 田中肥後太郎

海軍軍醫中將

補海軍省醫務局長

政府は國際情勢の緊迫に伴ひ國內各般

の事項にわたり逐次臨戰態勢の整備擴充

に努めて來たが、今回教育部面において

も大學および専門學校などの在學年限ま

たは修業年限を臨時措置としてそれより

六ヶ月以内短縮し得ることにして、國民

皆勞の一翼としてあるひは國防直接の要

員に動員することになり(一) 大學學部

などの在學年限または修業年限の臨時短

縮に關する勅令案(一) 昭和十四年法律

第一號兵役法中改正に關する勅令案の二

件を十五日午前の権府本會議に上議可決を見たので直ちに持闇議に附したう

へ、上奏御裁可を仰ぎ同日午後情報局、文部省、陸軍省からそれゝへ發表した、しかしで差當り明春三月卒業豫定のものは本年十二月をもつて卒業せしめ、右の

學生生徒の徵兵検査は十二月に行ふこと

となつた。

ウヤジマ、ブリヤンスクにおける獨軍の二重包圍殲滅戦はブリヤンスク南方の一部の赤軍の包圍線を残すのみでほど終幕に近づいた、この包圍戦に參加した獨軍兵力はこゝに任務を解放され新作戦に使用し得ることになつた、この二重包圍戦における現在までの敵の捕虜は五十六萬、鹵獲兵器は戰車八百八十八、大砲四千百三十三に達してゐる。

十月十六日

農地作付統制規則（農林省令第八六號）輸出品用原材料配給統制規則中改正（商工省令第八九號）漁業用南京麻糸最高販

賣價格指定（農林省告示第七七七號）食

賜されしもの二千九十九名、功績抜群の殊勳甲は中川廣少將以下二十八名である

年八月告示第一三號中改正（農林省告示

補東部軍司令官 陸軍中將 田中 靜臺

第七七八號）ステーブルファイバー及ス

テープルファイバー及販賣價格指定昭和十五年一月告示第一四號中改正（商工省

告示第九四九號）公布

補陸軍兵器本部附兼軍務局軍務課長
補部隊長 陸軍大佐 馬淵 遠雄

第十四回支那事變生存者論功行賞（陸

陸軍大佐 大平 秀雄

軍第十二回）は十六日賞勳局ならびに陸

補大本營陸軍報道部長

軍省から發表された、今回の恩賞に浴し

たのは上海戰をはじめ武漢攻略戰、修水

渡河戰、南昌攻略戰、贛湘會戰などに參

加した部隊、主として中支〇〇地區の警

備に任じた部隊、武漢攻略戰、南昌攻略

の公電によれば、『十五日午後二時ソ聯外

務人民委員部より電話にて、わが大使館

に對し、同日夕刻までに引揚準備を完了

されたしとの申出であり、しかし引揚先

については何等指定するところなし』と

報じ、怒濤の如き獨軍の進攻によりモス

クワの危機切迫が報せられる

近衛第三次内閣は十六日午後總辭職を

決行した、近衛首相は現下重大なる國際

政局に對處し確乎たる帝國の所信を斷行

するため、閣内一致最善の努力をして來

たが最近に至り、國策遂行の方途に關し遂に意見の一致を見ることが出来なくなつたためこの際總辭職を決行することを決意し十六日朝來閣僚を個別的に招き辭意を固めるに至つた事情を述べ諒解を求めた、閣僚いづれも首相の意を諒とし各閣僚共辭表を提出した、よつて近衛首相は各閣僚の辭表を取纏め同日午後五時宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ總辭職を決意するに至つた事情を委曲上奏、全閣僚の辭表を閣下に捧呈、骸骨を乞ひ奉つた。

情報局發表 現内閣はさきに大命を拜して以來組閣の使命達成を期し閣内一致最善の努力を傾注し來つたのであるが最近に至り國策遂行の方途に關し遂に意見の一致を見ること能はざるに立ち至りたるをもつてこゝに内閣總辭職を決行することとなり、近衛内閣總理大臣は閣僚の辭表を取まとめ本日午後五時參内してこれを御前に捧呈した、陛下よりは「何分

の沙汰あるまで國務を見よ」との優謹を賜はつたので、近衛内閣總理大臣は恐懼して御前を退下し午後八時臨時閣議を開き各閣僚に聖旨を傳達した。

テヘラン來電によれば、同地の權威ある筋ではモスクワの危機切迫と共にソ聯政府と同地外交機關は目下モスクワ東方七百キロのカザンへ移轉準備中である、特に英米大使館はモスクワ撤退の場合を豫想し、すでに館員の一部をカザンに移してゐるといはれ、また他の外國公館もソ聯政府のカザン遷都を豫想し、同地に代表者を派遣してゐる。

正三位勳二等 賀屋 興宣

任大藏大臣

海軍大將從三位勳一等功三級島田繁太郎

任海軍大臣

任商工大臣

從四位勳三等 岸 信介

任遞信大臣兼鐵道大臣

從四位勳三等 寺島 健

任陸軍中將正四位勳一等

任陸軍中將從三位勳一等 東條 英機

任陸軍大將

內閣總理大臣兼内務大臣陸軍大將從三位勳一等 東條 英機

兼任對滿事務局總裁

正四位勳二等 谷 正之

兼任對滿事務局總裁

從三位勳二等 星野 直樹

任內閣書記官長

陸軍大臣兼對滿事務局總裁

陸軍大將從三位勳一等 東條 英機

兼任對滿事務局總裁

正四位勳二等 谷 正之

兼任對滿事務局總裁

從三位勳二等 星野 直樹

任法制局長官

正三位勳二等 賀屋 興宣

十月十八日

天皇陛下には靖國神社臨時大祭第三日

の十八日、畏くも同神社に行幸あらせられ、親しく護國の英靈に御拜あらせられ

兼任對滿事務局總裁

正四位勳二等 谷 正之

兼任對滿事務局總裁

從三位勳二等 星野 直樹

任法制局長官

た。

陸軍大臣兼對滿事務局總裁
陸軍大將從三位勳一等 東條 英機

任法制局長官

正三位勳二等 星野 直樹

兼任對滿事務局總裁

正四位勳二等 谷 正之

兼任對滿事務局總裁

從三位勳二等 星野 直樹

任法制局長官

正三位勳二等 賀屋 興宣

任內閣總理大臣兼内務大臣陸軍大臣

正四位勳三等 湯澤三千男 特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フ

陸軍中將從三位勳一等 東條 英機

し、御稟威の下舉國一體聖業の達成に邁
進せんことを期す。」

任内務次官 内閣總理大臣公爵

特ニ現役ニ列セシム

さらに東條首相は同日午後七時 A.K の

内務大臣 近衛 文麿

内閣書記官長 富田 健治

マイクを通じ、時局擔當の決意を左のご

大藏大臣 小倉 正恒

法制局長官 村瀬 直養

とく放送した。

海軍大臣 及川古志郎

内務次官 荘場 軍藏

「未曾有の重大世局に際會し、不肖はか

商工大臣 左近司政三

依頼免本官(以上十月十八日内閣)

らずも、大命を拜し恐懼感激の至りであ

國務大臣男爵 平沼騏一郎

(各通)

ります。

國務大臣 柳川 平助

海軍省公表本日左の通親補せられたり

情報局總裁 伊藤 達史

海軍大將 及川古志郎

志と、迅速的確なる實行とに在りと確信

依頼免本官並兼官

補軍事參議官

する次第であります、不肖はこの信念に

外務大臣兼拓務大臣 豊田貞次郎

海軍中將 平田 昇

慕き不退轉の意氣を以て率先陣頭に立ち

選信大臣兼鐵道大臣 村田 省藏

補積須賀鎮守府司令長官

國務を處理し、皇道を翼賛し奉らんこと

依頼免本官並兼官

東條首相は十八日初閣議散會後午後六

時を聞く決意致して居ります。

(各通)

時難突破の途は御稟威の下只鐵石の意

從二位勳一等公爵 近衛 文麿

試みた。「支那事變を完遂し、大東亜共

榮園を確立して世界平和に寄與するは、

特ニ前官ノ禮遇ヲ賜フ

見し政府聲明として左のとく第一聲を

試みた。「支那事變を完遂し、大東亜共

正二位勳一等男爵 平沼騏一郎

榮園を確立して世界平和に寄與

するに在ることは申す迄もないことであ

特ニ内閣總理大臣タル前官ノ禮遇ヲ賜フ

りますが、舉國一體強き確信をもつて道

進する所、必ずこれを貫徹し得るものと

内閣書記官長從三位勳二等 皇野 直樹

を厚ぐし内ます。國防國家體制を完備

信する次第であります。

幸ひに國民諸君の御信頼と御協力とを

任大阪府書記官(警察部長)

愛媛縣警察部長 高橋 一郎

任靜岡縣書記官(經濟部長)

内務事務官兼内閣總理大臣祕書官

任愛媛縣書記官(警察部長) 高村 坂彦

内務事務官 寺本 廣作

任内務大臣祕書官兼内務事務官

特命全權公使從四位勳三等 西 春彦

任外務次官

外務次官 天羽 英二

依願免本官

第四十二回支那事變死殲者論功行賞

(陸軍第三十一回)は二十一日賞勳局なら

びに陸軍省から発表された、前回までに

発表せられた行賞はすべて事變勃發當初

から、昭和十五年四月廿九日の支那事變

第一次功績継切までのものであつたが、

今回はじめて同日以降(第一次行賞期間)

の者が行賞の恩命に浴した。主として昭

和十六年六月二十五日までの間に支那お

よび満洲で戰(病)歿したもので特に昨年

五、六月中支宜昌戰に參加した山陽、

田中(靜)兩部隊に屬する勇士が多數含ま

れてゐる。右のうち殊勳者として金鵄勳

章を拜受したもの、およびすでに上級の

金鵄勳章を拜受してゐるため賜杯の光榮

に浴したものは合計四千八百六十三名、

殊勳甲として優賞せられたものは石橋架

吉歩兵大佐以下十四名である。

東條新首相は二十一日午前八時、内閣

部内の勅任官ならびに同待遇以上の首腦

部官吏約五十名を前に、首相官邸大廣間

で左のごとき初訓示を行つた。

「私はこの度圖らずも大命を拜して、こ

の非常時局に際し、内閣總理大臣の重任

に當ることゝ相成り、誠に恐懼感激に堪

へぬ次第である。私は鐵石の意志と迅速

的確なる實行とによつて、いかなる時局

も必ずこれを突破し得ることを信ずるもの

であるが、この信念に基き率先不退轉

の意氣を以て國務を處理し、以て輔弼の

重責を盡すに遺憾なきを期し度いと思ふのである。

諸君においても私の決意を十分に諒解せられ、各々全力を擧げてその職責を盡

し、私と一體となつて時局突破に邁進せられんことを切望してやまないのである。

この際特に希望したきは官紀の嚴肅を期することである、これは從來當局者の最も力を入れた所であると信ずるのであるが、この非常時局においては特にこれ

を必要とすること大なるものがある。

また行政事務は常に理論に基きまた傳統

を尊重して行はれねばならぬことは勿論であるが、時局の重大性を思ひ、今やま

さに諸事革新の時期に際會してゐること

を深く認識して、あるひは徒らに議論の

未に拘泥して實行を怠り、或は舊慣に盲

従して改善を忘るがごときことなきや

う特に意を用ひ、迅速果敢事務を處理し

以て時局の要求に應ぜんことを期せられ

度い、さらにまた特に御願ひし度いことは「親切」といふことである。御承知の通り國民の多數が戰地において死を賜して幾多の辛苦を重ね、統後の國民はまた一億一心、滅私奉公を重ねて居るのである。かかる際においては行政官吏たるものには常に國民一般の立場に立つて考へることを忘れることなく、人に接することを大切に、部内互に相和し、事務の遂行に當らんことを望む次第である。

以上は就任に當り私の特に諸君に對し

て要望する所である、元來私は一個の武人であつて内閣部内の事務については全く素人である、諸君の意見は常に喜んでこれを聞き度いと思ふ。諸君の協力援助を特に切望して已まぬ次第である」

今次鄭州攻略戦の徹底的敗北を躊躇糊塗せんがため、敵は連日デマを放ち鄭州奪還を呼號、漸次増兵しつゝあつたが、わが各精銳部隊は機に應じて出撃、敵に甚大なる損害を與へつゝあるが、行動開

始以來十九日までに判明せる綜合戰果は次の通り。

△敵遺棄死體四、九〇八、捕虜三二八

砲四、高射機關銃四、自動小銃一〇、

小銃弾二、六六〇、迫擊砲弾七二

二十一日獨重發表=獨軍は南部戰線に

おいてマリウボリの東北一二〇キロにある重要都市スターイノを占領、市内の工場の一つにはハーケンクロイツ旗が掲げられた。

二十一日午後獨軍司令部發表によれば

獨軍はバルト海のダゴ島を占領した、これによつてバルト海の諸島はすべて獨軍の手に歸した。

赤軍機關紙「赤い星」所報によれば、

赤軍司令部はロストフ西方七十キロのアゾフ海岸の要衝、タガンログを激戦後放棄した旨廿一日自認した。

十月二十二日
金屬類回取物件讓渡價格代替物件の價格

其備附に要する費用の基準指定（商工省告示第九五八號）鑑及同附屬品最高販賣價格指定（商工省告示第九五九號）公布

宮内省告示 賢所大前の儀は二十二日めでたく御終了遊ばされたので、宮内省では同日左のごとく御結婚の旨を告示した。

【宮内省告示第二十六號】崇仁親王殿下本日正四位勳四等子爵高木正得二女百合子と結婚せらる。

昭和十六年十月二十二日

宮内大臣 松平 恒雄

皇統譜に謹記 宮内省圖書寮では皇統

譜に『昭和十六年十月二十二日大勳位崇仁親王子爵高木正得二女百合子と御結婚あらせらる』旨を謹記した。

新民會副會長陸軍中將安藤紀三郎氏は二十二日午後三時二十五分特急電車で着京、同四時十分首相官邸に赴き東條首相と會見、首相より重大時局を擔當し、不動の國策遂行に挺身邁進する決意を述べ、

て安藤中將の協力を求めるとともに、大

政翼賛會副總裁就任を正式交渉し、同時

に從來の例のごとく翼賛會副總裁を國務

大臣として奏請したき意向を述べたが、

これに對し安藤中將は副總裁就任はこれ

を受諾するが、國務大臣たることほかへ

つて翼賛會の發展を期する所以ではない

との固き信念を披瀝し固辭した。

東條首相は二十二日近衛前首相より引

繼がれた九議の辭表を執奏

町田忠治、安保清種、林銑十郎、郷

誠之助男、池田成彬、勝田主計、安達

謙藏、中島知久平、大谷光瑞の九氏

の被免の辭令が同日午後發令された。

アメリカ海軍委員會は二十二日左の如

く發表した、アメリカの對ソ援助軍需物

資のウラヂオ向け輸送は中止することと

決定した。尙右決定の結果今後援ソ物資

は主としてアルハンブルスク經由輸送さ

れるはずである。

十月二十三日

時局日誌

農機農具販賣價格認可（農林省告示第七

九三號）人造綢織物販賣價格指定昭和十

六年五月告示第一四四號中改正（商工省

告示第九六二號）中等學校生徒制服販賣

價格指定昭和十六年五月告示第四三〇號

中改正（商工省告示第九六四號）公布

畏くも皇后陛下には靖國神社秋の例大

祭第二日の二十三日、靖國神社に行啓遊

ばされ、護國の英靈に親しく御拜あらせ

られた。

任遞信次官 航空局長官 手島 榮

依願免本官 遞信次官 山田 龍雄

任情報局次長 遞信監察官 奥村喜利男

依願免本官 情報局次長 久富 達夫

衆議院議員 木下 信

佛領印度派遣特命全權大使顧問被仰付

獨董發表『惡天候にも拘らず、我軍は

西および西南方よりモスクワ防衛外郭陣

に突入、數ヶ所の前衛部隊はモスクワを

距る六十キロの地點にまで前進した、モ

スクワは二十二日夜もまた爆彈、燒夷彈

をもつて爆撃された。

海事委員會の對ソ援助物資ウラジオ向

け輸送停止決定は、その發表が突然であ

つたため各方面を憚ながら驚かせ、政

府筋は海事委員會の簡單な發表以外何等

説明を加へぬが、UP通信上海電はこれ

はソ聯が日本を刺戟することを恐れ、米

國にウラジオ向け輸送停止方を示唆した

ため採られたものであるとも報じてゐる

十一月二十四日

「パラオ」『デイリー』間航空業務設定に

關する日本國政府「ボルトガル」國政府

協定（條約第一五號）硫酸最高販賣價格

指定（商工省告示第九六五號）紙系及セ

ル引紙系最高販賣價格指定（商工省告示

第九六六號）公布

會計検査院部長 河本 文一

任會計検査院長

情報局發表 本日の定例閣議において、臨時議會召集を奏請することが決定

された、召集日は来る十一月十五日、會

期は五日間である。臨時議會召集奏請の理由は、特に時局に關し緊急を要する追加豫算案並に法律案の協賛を求むるに對つて、なほこの機會に國策遂行に關する現内閣の確乎たる決意を披瀝し、帝國議會を通じて、國民の理解と協力とを求める、愈々墨國一致の實を擧ぐることをはかる所存である。政府提出議案は、特に緊急やむを得ざるものに限定し、即ち豫算案としては、軍事費および米穀増産臨時對策に必要なものとし、法律案としては、購買力吸收を目的とする増税案並に右米穀對策に伴ふ法律案とすることに決定した。

十一、重機一千百五十五、輕機五千二
百六十八、擲彈筒一千七百七十八、小
銃十一萬三千六百六十六、拳銃二千百
四十一、重砲彈、野砲彈、山砲彈四萬
七百六十、迫擊砲彈二十三萬九千四百
十一、その他の砲彈二萬八千三百十一、
小銃彈六千四百九十一萬發

わが諸部隊は去る二十二日夜〇〇地點
より行動を開始し、敵豫備第六師第十六
團、および第十八團の主力約三千を瀋陽
西北方約十六キロの南蔡山の線において
捕捉中であるが、現在までに判明せる我
が方の戦果は左の通り。

十月二十五日

給は減少、ソ聯は對獨戰にその全資材を必要とし對蔣援助の餘裕がなくなつてゐるといはれる。

告示第一三三號中改正（商工省告示第九六八號）歎刷子販賣價格指定告示第八五二號中改正（商工省告示第九七〇號）ガラ紡一分層及ガラ紡掃寄層最高購入價格及最高販賣價格指定（商工省告示第七七一號）公布

△敵遺棄死體八十六萬六百七十五、辱虜五萬六千九百九十七
武漢攻略以降長沙作戰に至る武漢周邊地區の三ヶ年の戰果はつぎのことくである。

△鹵獲品 重砲、野砲、山砲三百三十九、迫撃砲六百九十五、その他の砲二百九

虜一三、鹵獲品一迫撃砲二、重機三、チエツコ輕機一、小銃二七、拳銃一一、その他彈薬兵器多數。わが方損害輕微、重慶發U.P電によると在重慶ソ聯大使館は、ソ聯は蔣介石に對しもはや軍需品を送り得ないむね通告したと發表した。なほ獨ソ戰開始以來ソ聯の對蔣軍需品供

二十五日正午獨軍司令部特別發表によれば、獨軍はウクライナにおけるソ聯の重要な軍事、經濟の中心地ハリコフを二十四日占領した。

二十五日正午獨軍司令部特別發表によれば、獨軍はウクライナにおけるソ聯の重要な軍事、經濟の中心地ハリコフを二十四日占領した。

八號) 風呂敷販賣價格指定昭和十六年四月告示第三四七號中改正(商工省告示第九七八號)公布

二十七日、獨軍當局の發表するところによれば、獨ソ戰開始以來獨空軍が破壊したるソ聯の列車數は三百七十六におよび、鐵道線の破壊箇所は四百十四に上つた。また獨空軍は十月二十六日のドネツ盆地における唯一の出撃のみにおいても、二十三のソ聯貨物列車を破壊し、または使用不能に陥らしめたと。

ルーズヴェルト大統領は二十七日の海

軍記念日に際し、同日午後十時より放送演説を行ひ左のごとく聲明した「發砲戰

争は既に開始されてゐる、米國は既に攻撃を受けてゐる、最新かつ最大の挑戦たるこの攻撃に直面する用意を整へて米國民は起ち上つた。余は米國商船の武装と交戦水域の撤廃とを要求する、國防生産は激増されねばならぬ、危険なる多數者の利己的な妨害によつて國防生産が阻害

十月二十八日

農地開發事業補助規則(農林省令第八九號)

内地產獸毛最高販賣價格指定(農林省告示第八〇一號)

天鵝絨類最高販賣價格指定(商工省告示第九七九號)

乾塗料最高販賣價格指定(商工省告示第六四號)

中改正(商工省告示第九八一號)公布

東京、横濱、京都、大阪及神戸の中央卸賣市場の特設賣場に於ける卸賣最高販賣

さればならぬ、今年の海軍記念日は全國的防衛の日である、その目的は『ヒツトラー阻止』にあるわれ／＼は發砲を避けようと願望したのである。しかるに發砲は開始された、誰が最初に火蓋を切つたかといふことは歴史が既に記録してゐる、最後に「われ／＼はヒツトラリズム潰滅のために、自分自身の機が擦り折れるまで力漕することを誓ふ、われ／＼はわれらの國家を防衛するために待機してゐる」と結んだ。

十月二十八日

農地開發事業補助規則(農林省令第八九號)内地產獸毛最高販賣價格指定(農林省告示第八〇一號)天鵝絨類最高販賣價格指定(商工省告示第九七九號)

乾塗料最高販賣價格指定(商工省告示第六四號)

中改正(商工省告示第九八一號)公布

(商工省告示第九八八號)公布

詔書

朕帝國憲法第七條及第四十三條ニ依り本年十一月十五日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ召集シ五日ヲ以テ會期ト爲スヘキ

コトヲ命ス

御名御璽

昭和十六年十月二十八日

各國務大臣副署

獨軍發表】歩兵部隊は空軍と協力してクリミア半島への通路を猛攻、これを占領した、十月十八日より二十八日までのこの方面の敵陣突破戦で捕虜一萬五千七百を得、戦車十三、大砲百〇九およびその他の軍需品を多量に鹵獲または破壊し

價格指定(農林省告示第八〇一號)農機具販賣價格認可(農林省告示第八〇三號)

運動具販賣價格指定昭和十六年三月告示

第二三七號改正(商工省告示第九八七號)

ステーブルファイバー製品販賣價格指定昭和十四年十二月告示第三七八號中改正

昭和二年十二月告示第三七八號中改正

た、月下敗敵を追撃中。

十月三十日

任権顧問官

池田 成彬

人造テグス最高販賣價格指定（農林省告示第八一五號）支那產蠶豆及支那產豌豆

最高販賣價格指定昭和十六年八月告示第六一九號中改正（農林省告示第八一六號）

素灰最高販賣價格指定（農林省告示第八一七號）梳織織物既製服最高販賣價格指

定昭和十六年六月告示第五三三號中改正（商工省第一〇一八號）伸銅品販賣價格指

定昭和十五年四月告示第一四六號中改正（商工省告示第一〇一九號）公布

第十二回明治神宮國民體育大會は爽涼の三十一日、高松總裁宮殿下の臺臨を仰ぎ。神宮外苑の聖地を中心とし、敢闘の幕をひらいた。

令旨

秋氣清爽ノ此ノ好季節ヲ以テ茲ニ第十二回明治神宮國民體育大會ヲ舉行ス今マ非

常ノ時機ニ際會シ皇國ノ地位愈々重大ナルモノアリ諸子ガ平素鍛錬セル心身ノ總力ヲ揮ヒテ之ヲ神前ニ奉仕スルハ實ニ國

運ノ進展ヲ表徵スル所以ニシテ其ノ意義タル極メテ深シ

聖戰既ニ四年ヲ踰エ皇軍ノ志氣益々振ヒ海ニ陸ニ勇武ヲ發揚シテ我方根基ノ確固

不拔ナルヲ證シツツアルモノ即チ戰線ト銃後ト戰力相輔テ效セル所ニシテ國民ノ

素質ニ基クト共ニ周知ナル訓練ニ負フモ

ト謂フベシ予ハ切ニ諸子ガ此ノ大會ニ於テ時局對應ノ用意アルコトヲ反映シ眞摯ナル精神ト強健ナル餘力ヲ現ハシ年

捕虜七二二、鹵獲品小銃二、六七四、重機四八、輕機二四二

煙草改正定價表

品名	區分	現定價	改正定價
米海軍省は三十一日「米國驅逐艦ルーピン・ジェイムス號は十月三十日にか	日	圓	圓
櫻	日	圓	圓
カメリヤ	日	圓	圓
二〇	日	圓	圓
二八	日	圓	圓
二五	日	圓	圓

けての夜アイスランドの製方、北大西洋上を護送任務中、魚雷發射により擊沈された」と發表した。

十一月一日

大學學部等の在學年限又は修業年限の昭和十七年臨時短縮に關する件（文部省令第八一號）公布

中支軍十一月一日午後四時發表リ十月

中ににおける武漢周邊地區戰果左の如し

（長沙作戰を除く）敵屍三六、一五六、

光	金	曉	白	あ	は	富	貴	煙	同	三	一	八	一〇
鷄	鷄	鷄	鷄	め	め	ロ	ロ	同	一	九	九	九	一〇
五	五	五	五	五	五	五	五	五	一	九	九	九	一〇
瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	二	九	九	九	一〇
五〇瓦	三	九	九	九	一〇								

十一月三日

第十六回支那事變生存者論行賞（海軍

第六回）は三日賞勵局ならびに海軍省から発表された、今回行賞の恩命に沿したのは海軍現役軍人を主とし、一部昭和十五年五月以降の死殲者も含まれてゐる。大部分は陸戦隊、漢口迦江部隊および航空隊の勇士で、功績抜群にして優賞せられたものは上阪香苗大佐以下七十一名である。

獨軍司令部三日特別発表〔クリミア半島で追撃戦を行ひつゝある獨羅聯合軍は敵を二方向に分断し、その一つはセベストボリに、他の一つはケルヂ（クリミア半島東端）に壓迫、この兩軍港より敵は海路逃走を企てるが、獨空軍は兩港に一日午後、佛海岸から長距離砲に以つて

ドーヴアを砲撃、更に同夜更獨機の大編隊は三箇月振りにロンデンを空襲した。爆弾は市内二地区に集中的に落下した。

十一月四日

奥煙用具販賣價格指定昭和十五年十一月告示第七七〇號中改正（商工省告示第一〇二七號）毛織物最高販賣價格指定昭和十六年六月告示第五三九號中改正（商工省告示第一〇二八號）梳織織物最高販賣價格指定昭和十六年六月告示第五三八號中改正（商工省告示第一〇二九號）公布

クルスク市を占領。

十一月四日

厚生省人口局長 武井 群嗣

任厚生次官

愛媛縣知事 中村敬之進

任厚生省人口局長

内務省監査官 島田 昌福

任愛媛縣知事

企畫院部長 中島 清二

任内務省監査官

兵庫縣總務部長 龜山 孝一

任企畫部長

依願免本官 厚生次官 児玉 九一

河南省一帶における我が部隊の十月の

綜合戰果は、河南進攻作戰を除いた分の

みでも遺棄死體一千五百七十六をあげ、餘

裕綽々たる戰力を示してゐる、戰果左の

如し。

△交戰回數百十九△交戰敵兵力二萬七

千四百五十三△敵損害—遺棄死體千五

百七十六、捕虜二百三十六、負傷目擊

せるもののみ九十三△鹵獲品一小銃二

百五十三、小銃彈三千八百三十八、拳銃

五十五、拳銃彈三十七、槍九十八その他

多數。

さきの晋察邊地區作戰において擊碎さ

れた、成武廳下の共產軍敗殘部隊は最近

河北省中部徐水の西方に集結、我各部隊

は二日未明一齊に行動を起しこれを包围

猛攻、大打撃を與へて潰走せしめた、戰

果は次の通、敵遺棄死體一六八〇、捕虜

五齒獲品機銃三、小銃六〇、その他多數

ベルリンへの情報によれば、モスクワ附

近においてソ聯軍の強力なる防衛線を各

所において擊破、猛進中で、一方空軍は

三日もモスクワのソ聯陣地、軍事施設等

を氣づぶしに猛撃、空陸呼應して總攻擊

を加へつつあり、モスクワの運命は刻々

に迫りつつあると。

四日正午獨軍司令部發表

一、クリミア半島において獨・ルーマニ

ア聯合軍は追撃戦を繼續した、獨軍は

四散せる敵軍集團による局地的抵抗を

擊破するとともに、黒海に臨むフェオ

ドシア港を占領した。

日本およびブラジル國間の文化的協力

四日米海軍は米海軍所屬油槽船サリ

ナス號（五、三七五トン）が大西洋で魚

雷攻撃を受けた旨發表した。

漁業用大麻製帆糸最高製造加工質及最高

販賣價格指定（農林省告示第八三二號）

農具販賣價格認可（農林省告示第八三三號）書簡用紙最高販賣價格指定（商工省告示第一〇三二號）先練物及先染物小幅絹織物最高販賣價格指定（商工省告示第一〇三三號）小幅本絹織物（後練物）最

高販賣價格指定（商工省告示第一〇三四號）小幅交織絹織物（後練物）最高販賣

價格指定（商工省告示第一〇三五號）

京都府書記官 松原 久人

任兵庫縣書記官（總務部長）

香川縣書記官 石原 専一

任香川縣書記官（總務部長）

吉垣壽一郎

任京都府書記官（經濟部長）

任香川縣書記官（總務部長）

吉垣壽一郎

任香川縣書記官（總務部長）

吉垣壽一郎

日本およびブラジル國間の文化的協力

に關する條約は、昨年九月二十五日ブラ

ジル首都リオデジヤネイロにおいて、わ

が駐伯大使桑島主計氏と伯國外務大臣オ

スアルト・アラニア氏との間に署名調印

したが、爾後兩國ともそれゞ國內手續

を進めた結果いよ／＼五日午後五時（日

本時間六日午前五時、リオ市において石

射駐伯大使と伯國外相とが會同、右條約の批准書交換を行ひ、こゝに日伯文化協定はやうやく成文に規定された。ごとく批准書交換後三十日をもつて發効することとなつた。

英國側が開戦以來の驅逐艦喪失合計五十八隻と發表したに對し、六日ドイツ側では合計百十二隻、そのうち海軍によつて六十五、空軍によつて四十七隻擊沈せる旨公表した。

ドイツ軍司令部五日正午發表

「クリミアにおいては東方ならびに南方に向け追撃續行中である、困難なる地形的條件にも拘らず、ドイツ軍はすでに沿岸に到達した。

十一月六日

綿製勞作業衣販賣價格指定昭和十五年十二月告示第七九八號中改正（商工省告示第一〇三九號）公布

情報局發表 今般野村大使を援助せし

むるため來栖大使の米國派遣を見るに至りたり。

山東省魯南の山嶺地帶に蟠踞し北支治

安の擾亂を企圖しつゝありし、徐尚前麾下の共產軍約二萬を一舉殲滅し、さらに同地帶の共產施設を徹底覆滅すべく、皇軍精銳は五日拂曉一齊に進撃を開始、蒙陰、沂水、臨沂の三方面より緊密なる包围線を形成しつゝ猛攻の火蓋を切つた。

情報局では六日正午左の如く發表した

日本海汽船敦賀清津定期客船氣比丸は五日午後十時過ぎ敦賀に向ふ途中、日本海上において機雷に觸れ遭難せり、よつて救助船數隻は直ちに現場に急航せり。

氣比丸遭難現場に捜査救助に赴いた白山丸、白海丸その他救助の船の救助作業により乗組員乗客四百三十名の中二百六

十五名の救助を終了したが、死傷者相當ある見込み残餘の百六十五名はなほ行方不明で目下銃意捜査に努めてゐる。

十一月七日

朝香宮湛子女王殿下には今七日の佳き日、御自出度く陸軍中尉大給義龍伯のも

とに御降嫁遊ばざれる。

スター・リン首相は六日の革命記念日前夜の放送演説中において、英およびその聯合軍がソ聯援助のため歐洲上陸作戦を斷行するやう要請して左のごとく述べた。

『英米ソ三國の協調は今や全く現實化され英米兩國の對ソ援助は急速に増大して

ゐる、しかしながら現在ソ聯は獨、芬、伊、羅、洪の五國軍を相手に廻して單獨で戰つてゐるのは遺憾なことである、聯合國が眞にソ聯の危急を救ふためには歐洲上陸作戦により第二の戰線を西歐に展開することが必要である。今や聯合國軍がこれを背後より衝くべき機は熟しつゝある』

ルーズベルト米大統領は七日の記者團との會見の席上『米國政府は北京、天津、上海からの米海軍陸戰隊引揚を考慮

中である』と語つた。マルーズヴェルト

大統領は在支米陸戦隊の引揚げを発表し

たが、右に關聯し海軍省は七日非公式に
在支陸戦隊員總數は千五百と發表した。

十一月八日

農機具販賣價格認可（農林省告示第八四

三號）袋物類最高販賣價格指定（商工省

告示第一〇四七號）半襟販賣價格指定昭

和十六年五月告示第四一三號中改正（商

工省告示第一〇四八號）歯科醫療器械販

賣價格指定（商工省告示第一〇四九號）

ステープルファイバー及ステープルファ

イバ一糸の種類及最高販賣價格指定昭和

十五年一月告示第一四號中改正（商工省

告示第一〇五〇號）公布

朕帝國憲法第七條及第四十一條ニ依リ本

年十二月二十四日ヲ以テ帝國議會ヲ東京

ニ召集ス

御名御璽

昭和十六年十一月八日

内閣總理大臣 東條 茂機

各國務大臣 連署

いふ状態に陥ることとなつた。

獨軍司令部九日發表リクリミア半島に

天皇、皇后兩陛下には七日清宮さまを

御同伴、葉山へ行幸啓あらせられた。

が収めたる八日午後二時までに判明せる

戰果左の如し。

交戰回數十四回、交戰せる敵兵力五千

八百、覆滅せる敵施設兵器廠一、糧秣

庫二、遺棄死體三百十九、捕虜四十三

虜獲小銃百三十四、彈藥二千七百二十

九、洋砲二十、銃劍五百二十九、未完

成小銃二百、軍衣庫三百四十。

十一月九日

パナマ政府は本年三月制定の商工業取

締法を帝國政府の屢次の抗議にもかゝは

らず、在留邦人に對し去る十月廿九日か

ら適用し全邦人を同國より締出すことと

なり、ためにパナマ在留邦人は永年に亘

つて築いた商工業基礎を奪はれたのみな

らず、ストック處分のための猶豫期間す

ら與へられざるため、忽ち路頭に迷ふと

おいて獨羅聯合軍は南部沿岸およびケル

ヂ半島に成功裏に敗敵追撃を繼續し、八

日聯合軍はヤルタ（クリミア半島）南部

海岸を占領した。

ヒットラー總統はナチス運動の最初の一

犠牲者を出した事件の十八周年記念日た

る八日夜、ミニンヘンのレー・ヴィエンプロ

イにおいてナチス黨員の前で一場の演説

を行つた。

ヒツトラー總統は同演説において再び

英國との協調政策が失敗に終つた経過

を繰返し力説したのち、今回の戦争に

おける獨軍の壓倒的勝利を強調した、

さらに一年前の今日ボルシエヴィズム

の中に巢食ぶ國際ユダヤ人の策謀が次

第に露骨となり、獨ソ協定にも拘らず

獨ソ戦争の必要を認めざるを得なかつ

た當時の苦衷を述べ、今日歐洲征服の

野望を抱く『二十世紀の匈奴』の來襲

を、歐洲各民族の反共十字軍の結成に

よつて、未然に撃破することを得た事
情について獨國民に訴へるところがあ
つた。

十一月十日

白堊（前名寒水クレー）最高販賣價格指
定（商工省告示第一〇五三號）衡器販賣
價格指定昭和十五年十二月告示第八九二
號中改正（商工省告示第一〇五四號）公
布

天皇、皇后兩陛下には去る七日葉山に
行幸啓あらせられたが、臨時議會開院式
を前に来る十五日還幸啓あらせられる旨
十日仰出された。

鐵鋼統制會の會長銓衡委員會は十日午
後一時半より丸之内鐵鋼會館に開催、平
生鉢三郎氏を滿場一致會長に推薦した、
又平生氏は統制會長專任制の建前より日
鐵社長を辭任することとなり、後任社長
は前外相豐田貞次郎海軍大將に決定し
た。

若葉吟社詠草

刈田吹く風やゝ寒し雲夕べ
夕焼の湖に凍てたり山の影

白菊の庭や翁の蓆編む
水涸れて我影塞き土橋かな

夜着かむる寐覺めの床や夜なきそば
銅鑼の音も狹霧に消へて埠頭哉

戻り馬夕日の中を枯野行く

大火鉢とりまく子等の赤き顔
霜の道大きく己が影を印す

空林の一樹櫻の歸り花

老夫婦の話はづめる火鉢かな
読み耽る障子の外の枯野哉
南吹く大氣明るし歸り花

香籠るや卓の下なる踏み火鉢
日溜りの鳩舎ものめき忘れ花

○

如 靜 同 靜 同 靜 同 淡 同 茅 部 山

野 狐 禪
同 同 同 同 同 同 同